



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年2月3日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 矢野 崇

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 2022年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	424,795	13.6	43,501	△5.0	42,588	△14.8	44,622	△12.0	30,747	△15.3
2021年3月期第3四半期	373,859	7.4	45,791	30.0	49,966	40.6	50,679	37.1	36,281	41.5

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2022年3月期第3四半期	297.80		296.10	
2021年3月期第3四半期	348.28		346.29	

※既存事業コア営業利益について

当社は2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益および非経常損益としての「その他収支」を控除した指標です。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	670,531	426,818	391,180	58.3
2021年3月期	663,530	421,435	384,016	57.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	55.00	—	65.00	120.00
2022年3月期	—	70.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	60.00	130.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当金には、普通配当55円00銭のほかに「時価総額1兆円記念配当」10円00銭が含まれております。

2022年3月期の第2四半期末配当金には、普通配当60円00銭のほかに「カップヌードル発売50周年記念配当」10円00銭が含まれております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	540,000	6.7	47,000	—	42,500 ～44,500	△23.5 ～△19.9	31,000 ～33,000	△24.1 ～△19.2	298 ～317

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	105,700,000 株	2021年3月期	105,700,000 株
2022年3月期3Q	2,953,951 株	2021年3月期	1,528,236 株
2022年3月期3Q	103,247,669 株	2021年3月期3Q	104,171,629 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(報告企業)	13
(作成の基礎)	13
(重要な会計方針)	13
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比13.6%増の4,247億95百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益（注1）は前年同期比5.0%減の435億1百万円、営業利益は前年同期比14.8%減の425億88百万円、税引前四半期利益は前年同期比12.0%減の446億22百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比15.3%減の307億47百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比11.6%増の4,171億19百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比6.3%減の429億円となりました。（注2）

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

（注1）既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益および非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

（注2）2022年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2021年3月期	2022年3月期	対前年同期比	
	自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	自 2021年4月1日 至 2021年12月31日	金額	%
売上収益	373,859	424,795	50,936	13.6
既存事業コア営業利益	45,791	43,501	△2,289	△5.0
営業利益	49,966	42,588	△7,378	△14.8
税引前四半期利益	50,679	44,622	△6,057	△12.0
親会社の所有者に帰属する四半期利益	36,281	30,747	△5,533	△15.3

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「菓子・飲料事業」に含まれていた「飲料事業」について従来の「低温事業」と合わせて「低温・飲料事業」とし、「菓子事業」については独立した報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

以下の前年同期比較は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類が売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。カップめん類では、2021年9月に発売したカップヌードルは混ぜるとウマイをコンセプトに既存のフレーバー同士を合体させたカップヌードル発売50周年記念商品「カップヌードルスーパー合体」シリーズが売上に大きく貢献したほか、おいしさそのまま高たんぱく&低糖質の「カップヌードルPRO」シリーズ、濃厚な味わいの旨辛スープとぶっかけ焙煎唐辛子がクセになる「カップヌードル辛麺」が引き続き好調で大きく売上に貢献しました。また、2021年10月に発売した幅広い層から支持を得ているアニメ「鬼滅の刃」と「日清のどん兵衛」、「日清焼そばU.F.O.」のコラボ商品や、2021年11月に発売した期間限定商品の「日清のどん兵衛 東西だし比べ」も売上に大きく貢献し、前年同期比で増収となりました。袋めん類は「日清ラ王」シリーズが売上を伸ばしましたが、前年同期比では減収となりました。カップライス類は、2021年9月に発売した素材のうまみが詰まった温かいスープにおにぎり約1個分のお米が入ったスープごはん「日清オシャーマシ」シリーズが売上好調なほか、「日清カレーメシ」シリーズが引き続き好調で売上に貢献し増収となりました。利益面は、売上の増加による利益の増加がありましたが、設備更新に伴う減価償却費の増加、原材料価格の上昇等により減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上収益は、前年同期比2.1%増の1,581億46百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比1.7%減の261億70百万円、営業利益は、前年同期比1.2%減の262億59百万円となりました。

②明星食品

明星食品㈱の販売状況は、袋めん類は主要ブランドの「明星 チャルメラ」が「宮崎辛麺」や「もやしが超絶うまいまぜそば」の好調もあり伸長したほか、「明星 麺神」も売上に貢献し、前年同期比で増収となりました。カップめん類においても「酸辣湯麺」が好調の「明星 中華三昧」や「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」が堅調に推移し前年並みとなりました。利益面では、売上の増加、一般管理費の減少等による利益の増加がありましたが、原材料価格の上昇、減価償却費の増加、広告宣伝費の増加等により、前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上収益は、前年同期比0.8%増の282億57百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比22.9%減の23億32百万円、営業利益は、前年同期比23.5%減の23億57百万円となりました。

③低温・飲料事業

チルド事業は、日清食品チルド㈱の主力ブランド「行列のできる店のラーメン」を中心に、「まぜ麺の達人」や「有名店シリーズ」も順調に売上を伸ばし、前年同期比で増収増益となりました。

冷凍事業は、日清食品冷凍㈱の主力商品である「冷凍 日清中華 汁なし担々麺 大盛り」をはじめとして、「冷凍 日清本麺」、「冷凍 日清まぜ麺亭」、「冷凍 日清もちっと生パスタ」の各シリーズが順調に売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。利益面では、増収効果により前年同期比で増益となりました。

飲料事業は、日清ヨーク㈱の主力ブランド「ピルクル」が乳酸菌数を150億個から400億個に増やし「ピルクル400」として発売し好調に推移したものの、コロナ禍におけるCVS（コンビニエンスストア）での売上低迷により前年同期比で減収となりました。また利益面では広告宣伝費の増加等により前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける低温・飲料事業の売上収益は、前年同期比4.5%増の612億22百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比2.0%増の34億52百万円、営業利益は、前年同期比1.9%減の36億45百万円となりました。

④菓子事業

菓子事業は、2020年4月の緊急事態宣言後に起きた需要の増加の反動があったものの、日清シスコ㈱の「ごろっとグラノーラ」シリーズが順調に売上を伸ばしたほか、ぼんち㈱も「海鮮揚げ煎」シリーズをはじめとした主力商品が好調に推移しました。また、60周年記念商品「KOIKEYA The」シリーズなどを展開し高付加価値経営を推進する㈱湖池屋は、2020年12月の連結子会社化により当期9カ月分の経営成績が反映されたこともあり（前年同期は1カ月分）、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける菓子事業の売上収益は、前年同期比106.8%増の520億25百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比12.3%増の30億37百万円、営業利益は、前年同期比15.2%増の31億5百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域においては、既存商品の収益力の向上に加え、新たな需要の創造に向けた付加価値商品の提案強化や導入推進に取り組んでおります。

売上につきましては、ブラジルでは新型コロナウイルス感染症拡大の影響による内食需要増に加えて積極的な営業・マーケティング施策を実施し、更なる間口・奥行きを獲得しました。主力商品「Nissin Lamén」や「CUP NOODLES」の販売も引き続き好調に推移し、売上増に貢献しました。米国においても、引き続き高い即席めん需要を維持する中、高価格帯商品が好調に推移したことにより、セグメント全体で増収となりました。利益につきましては、主力商品や高価格帯商品の販売食数増、値上げによる販売単価増の増収効果もありましたが、継続する主要原材料及び物流費高騰が要因となり減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上収益は、前年同期比19.8%増の638億31百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比34.5%減の25億95百万円、営業利益は、前年同期比34.0%減の26億31百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比13.4%増の604億28百万円となり、コア営業利益は、前年同期比38.4%減の24億42百万円となりました。（注4）

⑥中国地域

中国地域においては、中国大陸での高付加価値商品市場が拡大しており、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。売上については、前年同期の新型コロナウイルス感染症による需要の増加の反動があったものの、カップヌードルブランド群の販売ボリューム増や対円での現地通貨高による為替換算影響によって、前年同期比で増収となりました。利益面でも、原材料費の高騰をコスト削減と中国大陸での販売ボリューム増による増収効果により吸収し、前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上収益は、前年同期比13.3%増の400億21百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比10.5%増の43億21百万円、営業利益は、前年同期比3.5%増の41億58百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比4.0%増の367億53百万円となり、コア営業利益は、前年同期比1.0%増の39億48百万円となりました。（注4）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比14.8%増の212億91百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比4.4%減の56億54百万円、営業利益は、前年同期比3.1%減の57億15百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比9.4%増の202億86百万円となり、コア営業利益は、前年同期比5.7%減の55億79百万円となりました。（注4）

（注3）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

（注4）2022年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ70億円増加し、6,705億31百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に非流動資産のその他の金融資産が154億90百万円減少した一方、営業債権及びその他の債権が83億84百万円、棚卸資産が50億64百万円、その他の流動資産が47億59百万円、現金及び現金同等物が43億27百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ16億16百万円増加し、2,437億12百万円となりました。これは主に繰延税金負債が16億18百万円、非流動負債のその他の金融負債が14億47百万円減少した一方、営業債務及びその他の債務が47億42百万円増加したことによるものであります。

資本は、前連結会計年度末に比べ53億83百万円増加し、4,268億18百万円となりました。これは主に自己株式が117億35百万円増加（純資産は減少）し、非支配持分が17億81百万円、資本剰余金が6億13百万円減少した一方、利益剰余金が200億88百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の57.9%から58.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	90,294	94,621
営業債権及びその他の債権	84,837	93,222
棚卸資産	40,901	45,965
未収法人所得税	1,629	1,092
その他の金融資産	6,890	9,791
その他の流動資産	4,563	9,322
流動資産合計	229,117	254,016
非流動資産		
有形固定資産	257,135	255,692
のれん及び無形資産	12,476	12,030
投資不動産	7,369	7,325
持分法で会計処理されている投資	42,333	41,814
その他の金融資産	100,990	85,500
繰延税金資産	12,174	12,391
その他の非流動資産	1,933	1,760
非流動資産合計	434,413	416,514
資産合計	663,530	670,531

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	119,275	124,017
借入金	9,647	12,815
引当金	204	—
未払法人所得税	8,050	8,109
その他の金融負債	3,855	3,700
その他の流動負債	19,617	19,641
流動負債合計	160,650	168,285
非流動負債		
借入金	38,283	35,400
その他の金融負債	18,601	17,153
退職給付に係る負債	5,151	5,207
引当金	203	123
繰延税金負債	16,722	15,104
その他の非流動負債	2,481	2,437
非流動負債合計	81,444	75,427
負債合計	242,095	243,712
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	50,636	50,023
自己株式	△6,658	△18,393
その他の資本の構成要素	34,217	33,642
利益剰余金	280,697	300,785
親会社の所有者に帰属する持分合計	384,016	391,180
非支配持分	37,419	35,637
資本合計	421,435	426,818
負債及び資本合計	663,530	670,531

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	373,859	424,795
売上原価	236,866	276,012
売上総利益	136,993	148,782
販売費及び一般管理費	96,488	109,297
持分法による投資利益	4,532	2,776
その他の収益	6,196	1,196
その他の費用	1,267	868
営業利益	49,966	42,588
金融収益	1,633	2,430
金融費用	920	396
税引前四半期利益	50,679	44,622
法人所得税費用	12,464	11,596
四半期利益	38,215	33,025
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	36,281	30,747
非支配持分	1,934	2,278
四半期利益	38,215	33,025
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	348.28	297.80
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	346.29	296.10

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	132,727	149,758
売上原価	84,730	96,905
売上総利益	47,996	52,853
販売費及び一般管理費	36,072	38,115
持分法による投資利益	1,533	1,083
その他の収益	5,104	283
その他の費用	436	352
営業利益	18,125	15,752
金融収益	607	1,131
金融費用	201	129
税引前四半期利益	18,531	16,754
法人所得税費用	3,719	2,268
四半期利益	14,812	14,485
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,307	13,625
非支配持分	505	860
四半期利益	14,812	14,485
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	137.34	132.58
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	136.55	131.82

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	38,215	33,025
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	21,647	△448
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△24	△40
純損益に振り替えられることのない項目合計	21,622	△488
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する負債性金融資産	12	4
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△31	△8
在外営業活動体の換算差額	△596	4,134
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△4,660	△12
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△5,275	4,119
税引後その他の包括利益	16,346	3,630
四半期包括利益	54,562	36,656
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	52,634	33,482
非支配持分	1,927	3,173
四半期包括利益	54,562	36,656

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	14,812	14,485
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	1,436	△1,084
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△69	△18
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,367	△1,102
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する負債性金融資産	2	—
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△11	△27
在外営業活動体の換算差額	1,133	2,629
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△2,221	△934
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△1,096	1,667
税引後その他の包括利益	270	565
四半期包括利益	15,083	15,051
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	14,507	13,473
非支配持分	576	1,577
四半期包括利益	15,083	15,051

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日 残高	25,122	50,639	△6,660	2,292	△12,057	17	19,879
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△553	△31	21,623
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△553	△31	21,623
自己株式の取得	—	—	△3	—	—	—	—
自己株式の処分	—	0	7	△7	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	362	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	18
その他の増減	—	△1	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1	3	354	—	—	18
2020年12月31日 残高	25,122	50,638	△6,656	2,647	△12,611	△14	41,521

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素				非支配持分	合計
	持分法適用 会社における その他の 包括利益に 対する持分	合計	利益剰余金	合計		
2020年4月1日 残高	2,143	12,275	246,616	327,994	26,068	354,063
四半期利益	—	—	36,281	36,281	1,934	38,215
その他の包括利益	△4,684	16,353	—	16,353	△6	16,346
四半期包括利益合計	△4,684	16,353	36,281	52,634	1,927	54,562
自己株式の取得	—	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	△7	—	0	—	0
配当金	—	—	△11,458	△11,458	△710	△12,169
株式に基づく報酬取引	—	362	—	362	—	362
企業結合による変動	—	—	—	—	8,328	8,328
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	160	160
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	12	30	△30	—	—	—
その他の増減	—	—	67	66	64	130
所有者との取引額合計	12	385	△11,421	△11,033	7,843	△3,190
2020年12月31日 残高	△2,528	29,014	271,476	369,595	35,839	405,435

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日 残高	25,122	50,636	△6,658	2,653	△9,642	18	42,584
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	3,208	△8	△412
四半期包括利益合計	—	—	—	—	3,208	△8	△412
自己株式の取得	—	△23	△12,003	—	—	—	—
自己株式の処分	—	12	268	△280	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	256	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△601	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△3,289
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△613	△11,735	△24	—	—	△3,289
2021年12月31日 残高	25,122	50,023	△18,393	2,629	△6,434	10	38,882

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	
2021年4月1日 残高	△1,395	34,217	280,697	384,016	37,419	421,435
四半期利益	—	—	30,747	30,747	2,278	33,025
その他の包括利益	△52	2,735	—	2,735	894	3,630
四半期包括利益合計	△52	2,735	30,747	33,482	3,173	36,656
自己株式の取得	—	—	—	△12,027	—	△12,027
自己株式の処分	—	△280	—	0	—	0
配当金	—	—	△13,984	△13,984	△3,706	△17,691
株式に基づく報酬取引	—	256	—	256	—	256
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△601	△1,453	△2,055
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	2	△3,286	3,286	—	—	—
その他の増減	—	—	39	39	206	245
所有者との取引額合計	2	△3,311	△10,658	△26,318	△4,954	△31,272
2021年12月31日 残高	△1,444	33,642	300,785	391,180	35,637	426,818

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社（以下、当社）は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト（<https://www.nissin.com/jp/>）で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社（以下、当社グループ）、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記「セグメント情報」に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」

（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2022年2月3日に取締役会によって承認されております。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

第1四半期連結会計期間より、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、「菓子・飲料事業」に含まれていた「飲料事業」について従来の「低温事業」と合わせて「低温・飲料事業」とし、「菓子事業」については独立した報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、(重要な会計方針)における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	154,917	28,035	58,589	25,160	53,283	35,332	355,318	18,540	373,859	—	373,859
セグメント間の内部売上収益又は振替高	1,183	3,874	414	46	5	823	6,347	23,306	29,653	△29,653	—
計	156,100	31,909	59,003	25,206	53,289	36,156	361,666	41,846	403,513	△29,653	373,859
セグメント利益 (営業利益)	26,565	3,080	3,717	2,695	3,989	4,017	44,066	5,897	49,963	3	49,966
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,633
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	920
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50,679
その他の項目											
減価償却費	9,545	1,493	1,881	1,111	689	1,486	16,207	2,643	18,850	29	18,880
減損損失(非金融資産)	103	—	—	—	—	1	104	—	104	—	104
持分法による投資損益	—	—	—	362	—	—	362	4,170	4,532	—	4,532
資本的支出	9,888	2,764	1,164	2,098	2,275	2,249	20,441	3,169	23,611	△201	23,409

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額3百万円には、セグメント間取引消去等△168百万円、企業結合に伴う再測定による利益4,589百万円、グループ関連費用△3,663百万円、新規事業費用△753百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	158,146	28,257	61,222	52,025	63,831	40,021	403,504	21,291	424,795	—	424,795
セグメント間の内部売上収益又は振替高	1,092	4,018	492	161	19	1,436	7,222	25,747	32,969	△32,969	—
計	159,238	32,276	61,715	52,187	63,850	41,458	410,726	47,038	457,765	△32,969	424,795
セグメント利益 (営業利益)	26,259	2,357	3,645	3,105	2,631	4,158	42,157	5,715	47,873	△5,284	42,588
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,430
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	396
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44,622
その他の項目											
減価償却費	10,263	1,636	1,822	1,920	880	1,912	18,435	2,533	20,968	29	20,997
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	2,776	2,776	—	2,776
資本的支出	5,263	709	1,325	2,613	2,370	4,028	16,310	2,388	18,699	△77	18,622

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△5,284百万円には、セグメント間取引消去等△136百万円、グループ関連費用△4,014百万円、新規事業費用△1,133百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第3四半期連結会計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	57,884	9,912	19,265	10,433	17,767	11,050	126,314	6,412	132,727	—	132,727
セグメント間の内部売上収益又は振替高	374	1,410	189	9	1	251	2,237	7,866	10,104	△10,104	—
計	58,258	11,322	19,455	10,443	17,769	11,302	128,551	14,279	142,831	△10,104	132,727
セグメント利益 (営業利益)	10,017	718	630	991	587	930	13,876	1,428	15,305	2,820	18,125
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	607
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18,531
その他の項目											
減価償却費	3,281	541	644	400	194	483	5,547	928	6,475	9	6,485
減損損失(非金融資産)	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	1
持分法による投資損益	—	—	—	222	—	—	222	1,311	1,533	—	1,533
資本的支出	2,124	285	49	1,724	729	683	5,597	1,118	6,715	△195	6,520

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額2,820百万円には、セグメント間取引消去等△59百万円、企業結合に伴う再測定による利益4,589百万円、グループ関連費用△1,221百万円、新規事業費用△487百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	59,620	9,562	20,232	17,222	21,412	14,141	142,191	7,566	149,758	—	149,758
セグメント間の内部売上収益又は振替高	394	1,467	176	57	7	553	2,656	8,778	11,434	△11,434	—
計	60,014	11,030	20,409	17,279	21,419	14,694	144,847	16,344	161,192	△11,434	149,758
セグメント利益 (営業利益)	10,839	642	966	870	453	1,811	15,583	2,079	17,662	△1,909	15,752
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,131
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	129
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16,754
その他の項目											
減価償却費	3,403	547	621	642	306	651	6,173	800	6,973	9	6,983
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	1,083	1,083	—	1,083
資本的支出	1,392	111	437	253	998	1,615	4,808	761	5,570	—	5,570

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,909百万円には、セグメント間取引消去等△11百万円、グループ関連費用△1,338百万円、新規事業費用△559百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。